

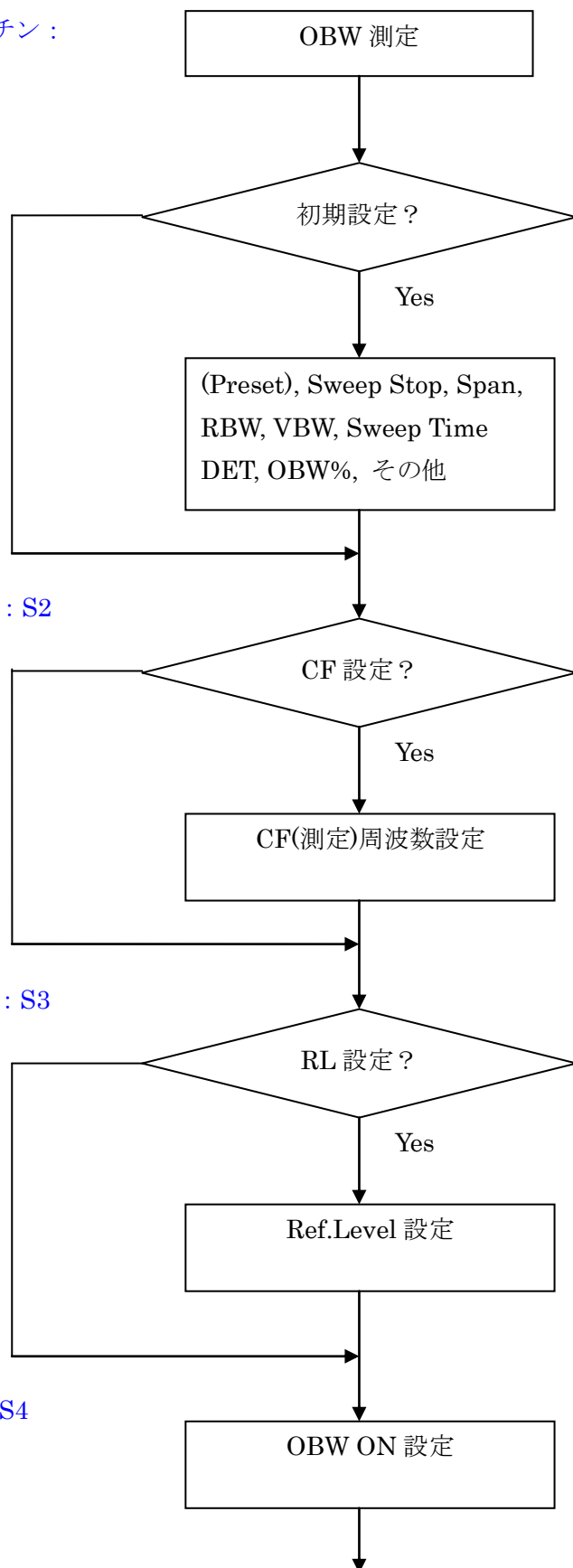
OBW 測定ルーチン :

初期設定 : S1

パラメータ設定 : S2

パラメータ設定 : S3

測定機能設定 : S4



* サンプルプログラム
では、判断なしの部分
があります。

* 初期設定は最初の
1 回だけで OK。

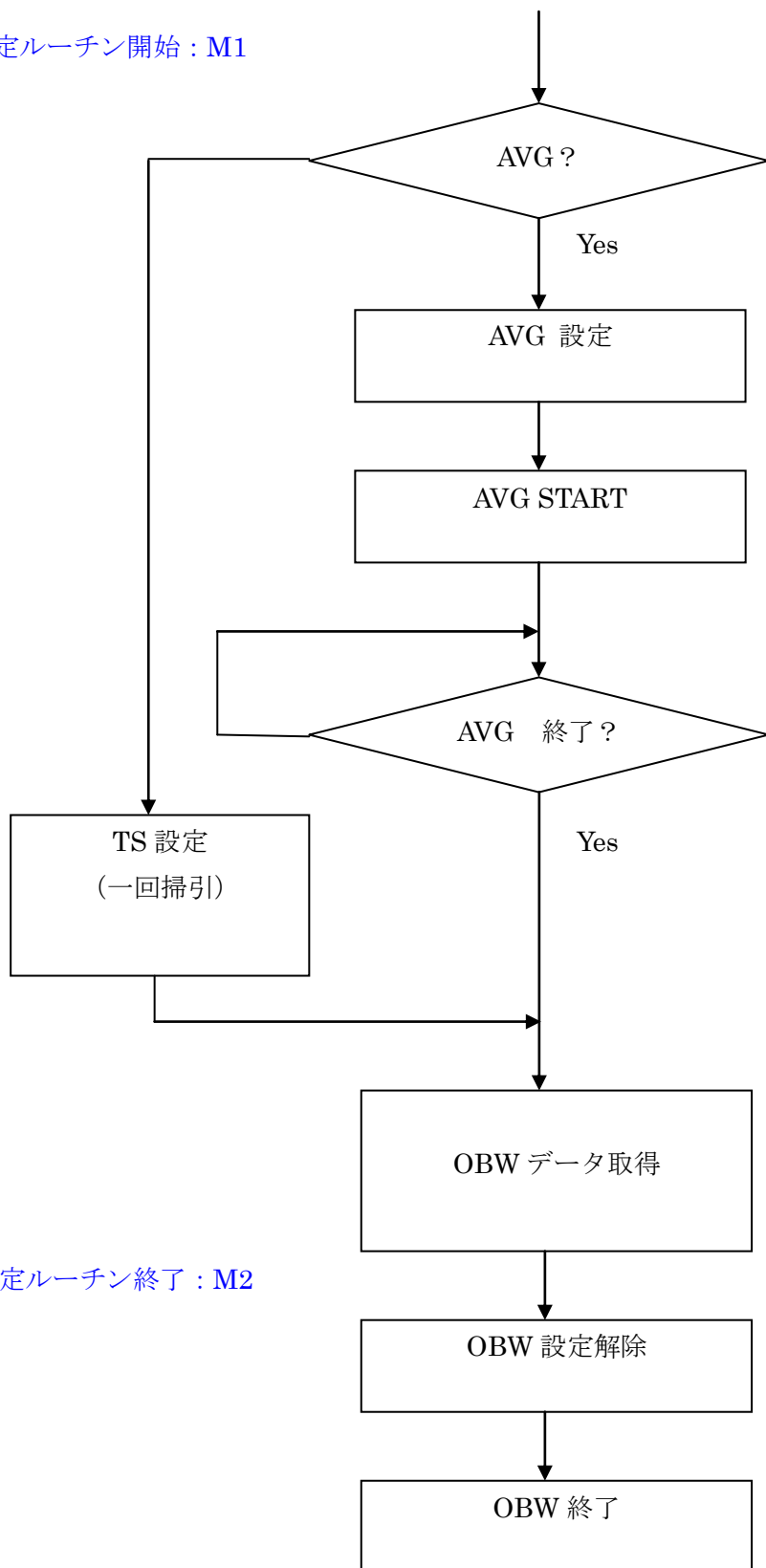
連続測定がある場合、
2 回目以降は、CF や
RL のみ変更して測定
すれば効率的です。

* 2 回目以降、必要が
あれば設定するため

* 2 回目以降、必要が
あれば設定するため

* OBW ON

測定ルーチン開始 : M1



*アベレージは？

*測定

*トレース・アベレージ
を使用した場合。
他に、データのための
アベレージモードもある

*アベレージの終了待ち

*TS は掃引終了後、自動的に
次のコマンドを受付ける

*データ取得

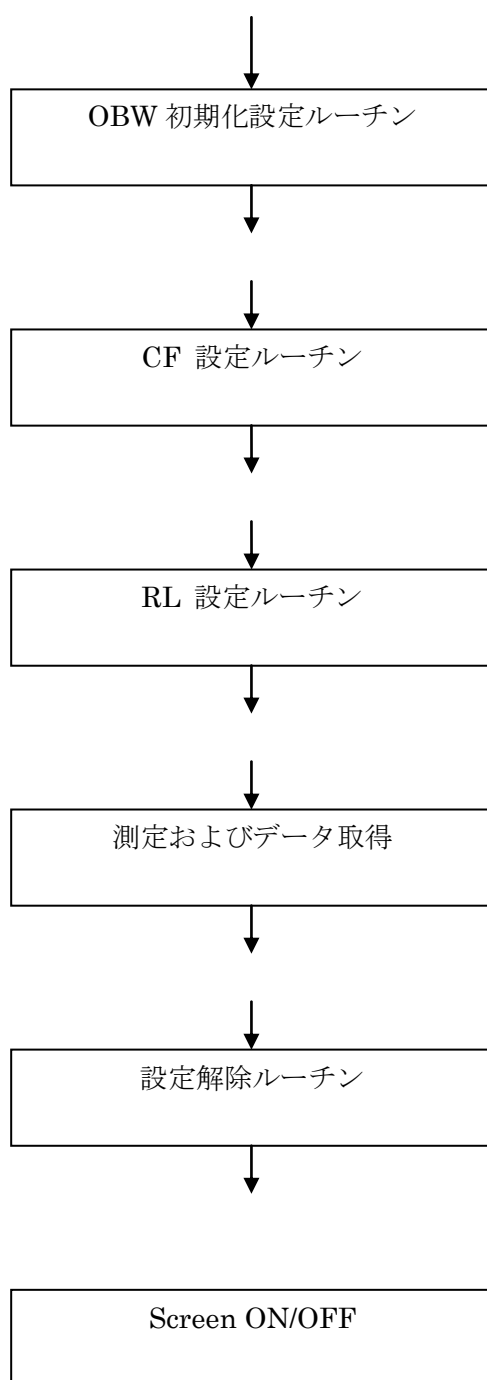
*OBW の設定を解除

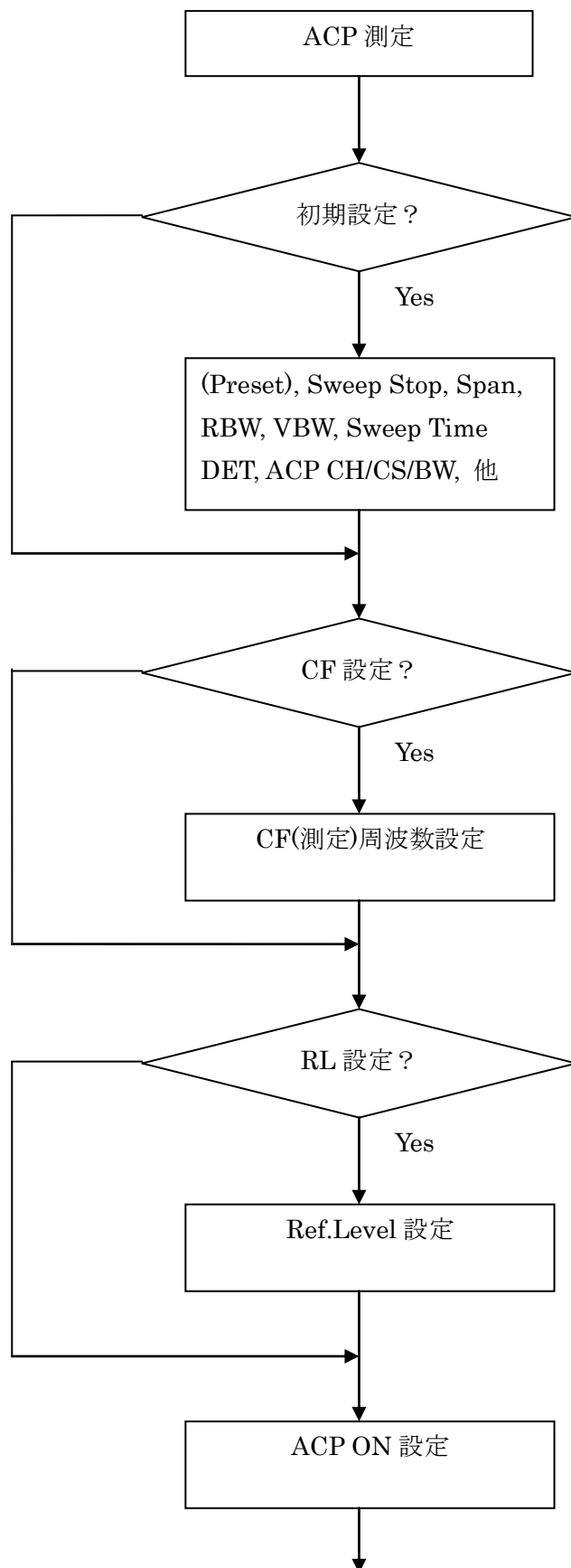
ただし、再測定の場合は
ここで解除しないで、
次の測定は測定ルーチン
M1 から M2 だけをサブ
ルーチン化して使うのが
効率的です。

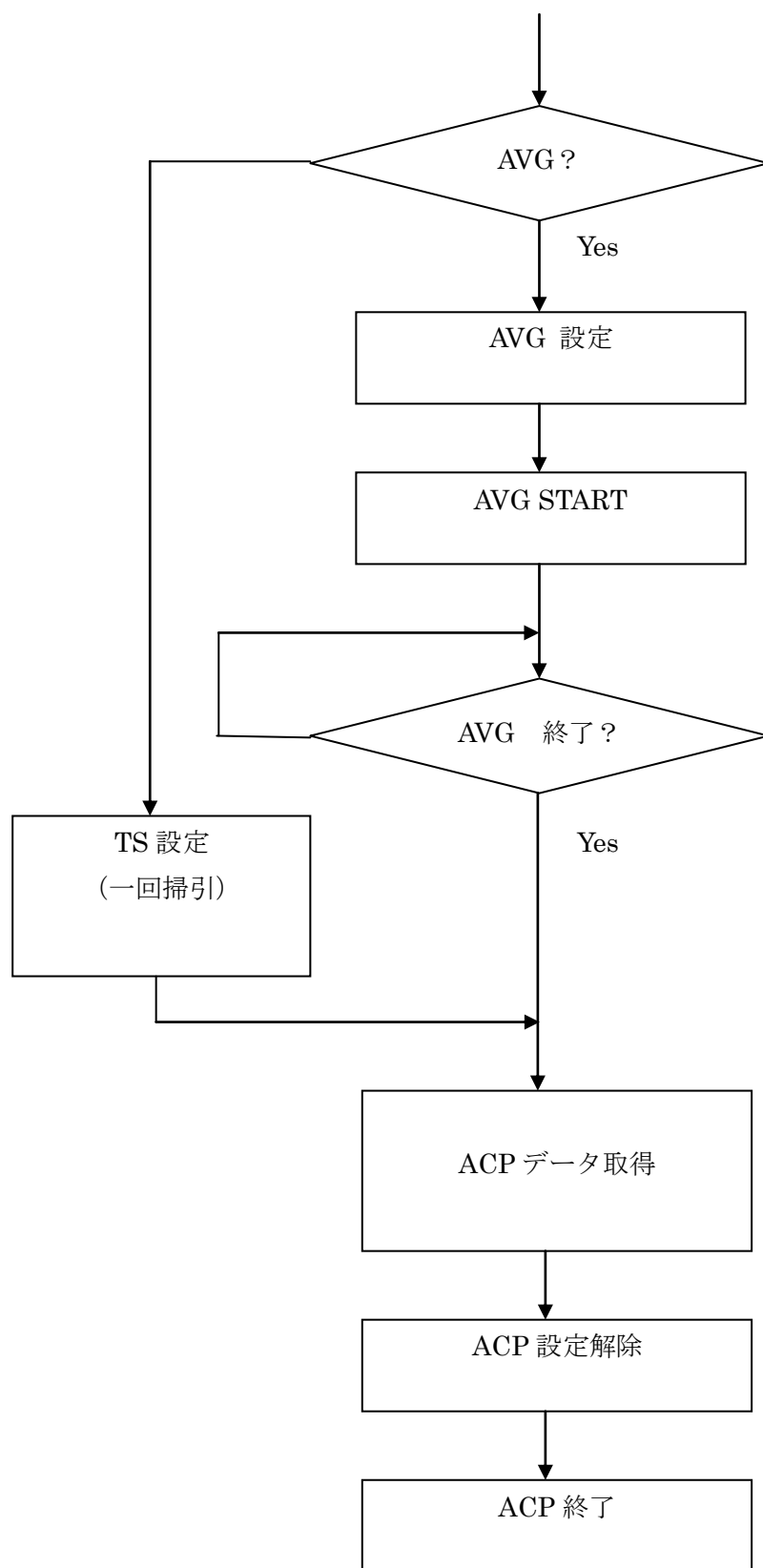
測定ルーチン終了 : M2

OBW 測定ルーチン終了 :

または、各モジュールを細かく作りそれを組み合わせる。







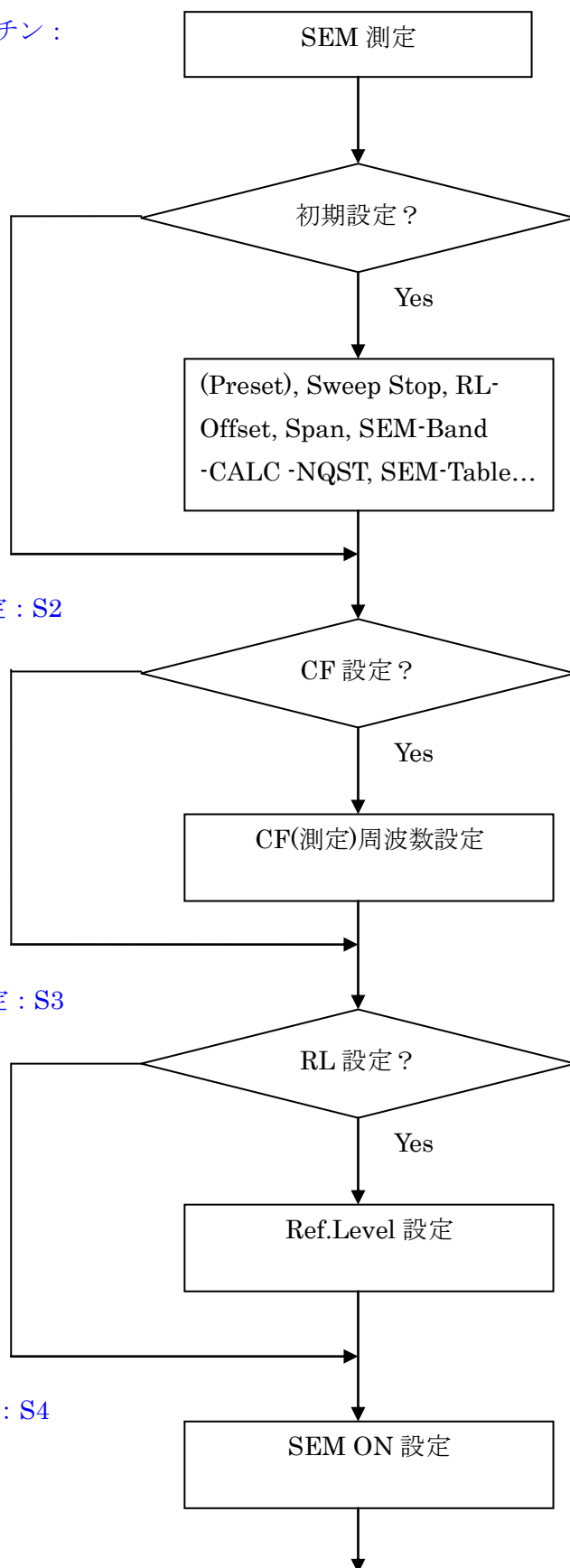
SEM 測定ルーチン :

初期設定 : S1

パラメータ設定 : S2

パラメータ設定 : S3

測定機能設定 : S4



* サンプルプログラム
では、判断なしの部分
があります。

* 初期設定は最初の
1 回だけで OK。

連続測定がある場合、
2 回目以降は、CF や
RL のみ変更して測定
すれば効率的です。

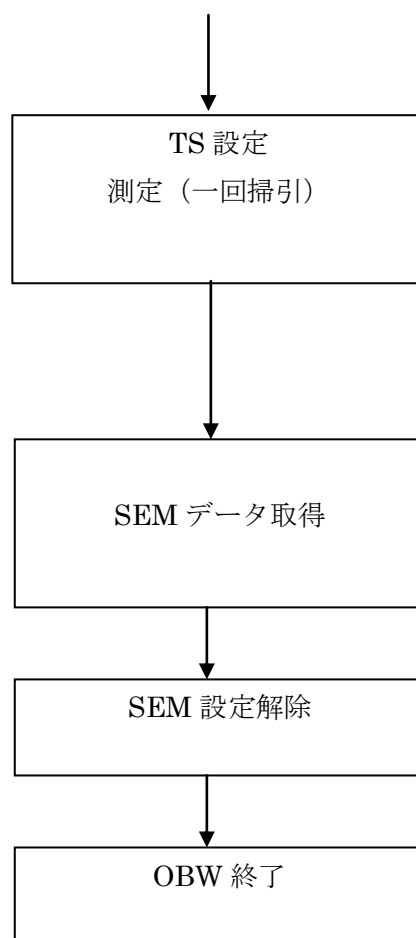
* 測定条件をテーブル
で設定します。

* 2 回目以降、必要が
あれば設定するため

* 2 回目以降、必要が
あれば設定するため

* SEM ON

測定ルーチン開始 : M1



*測定

*データ取得

*SEM の設定を解除

ただし、再測定の場合は
ここで解除しないで、
次の測定は測定ルーチン
M1 から M2 だけをサブ
ルーチン化して使うのが
効率的です。

測定ルーチン終了 : M2

SEM 測定ルーチン終了 :

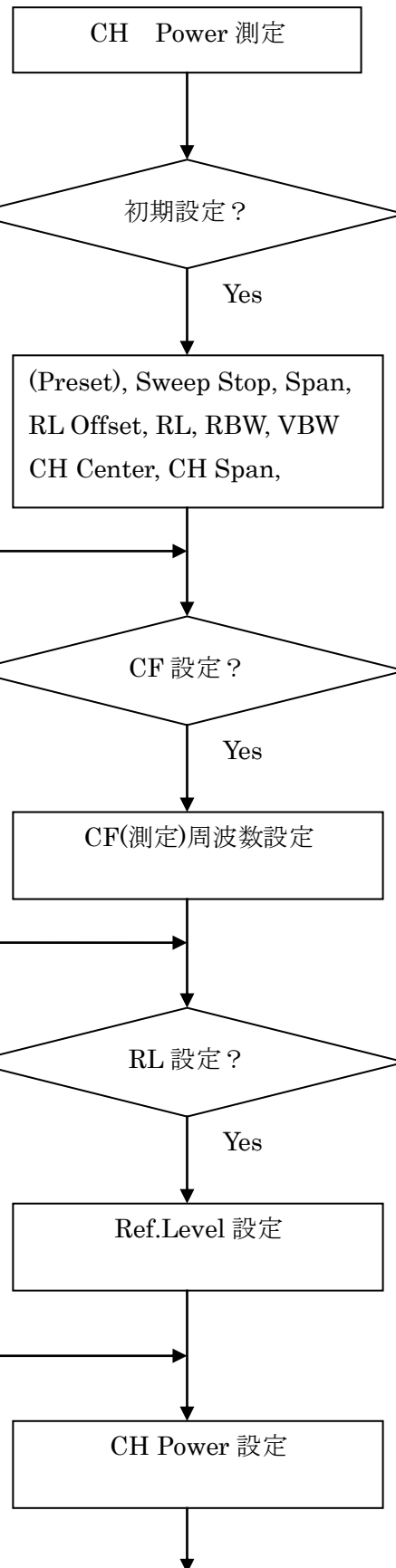
CH パワー測定ルーチン :

初期設定 : S1

パラメータ設定 : S2

パラメータ設定 : S3

測定機能設定 : S4



* サンプルプログラム
では、判断なしの部分
があります。

* 初期設定は最初の
1 回だけで OK。

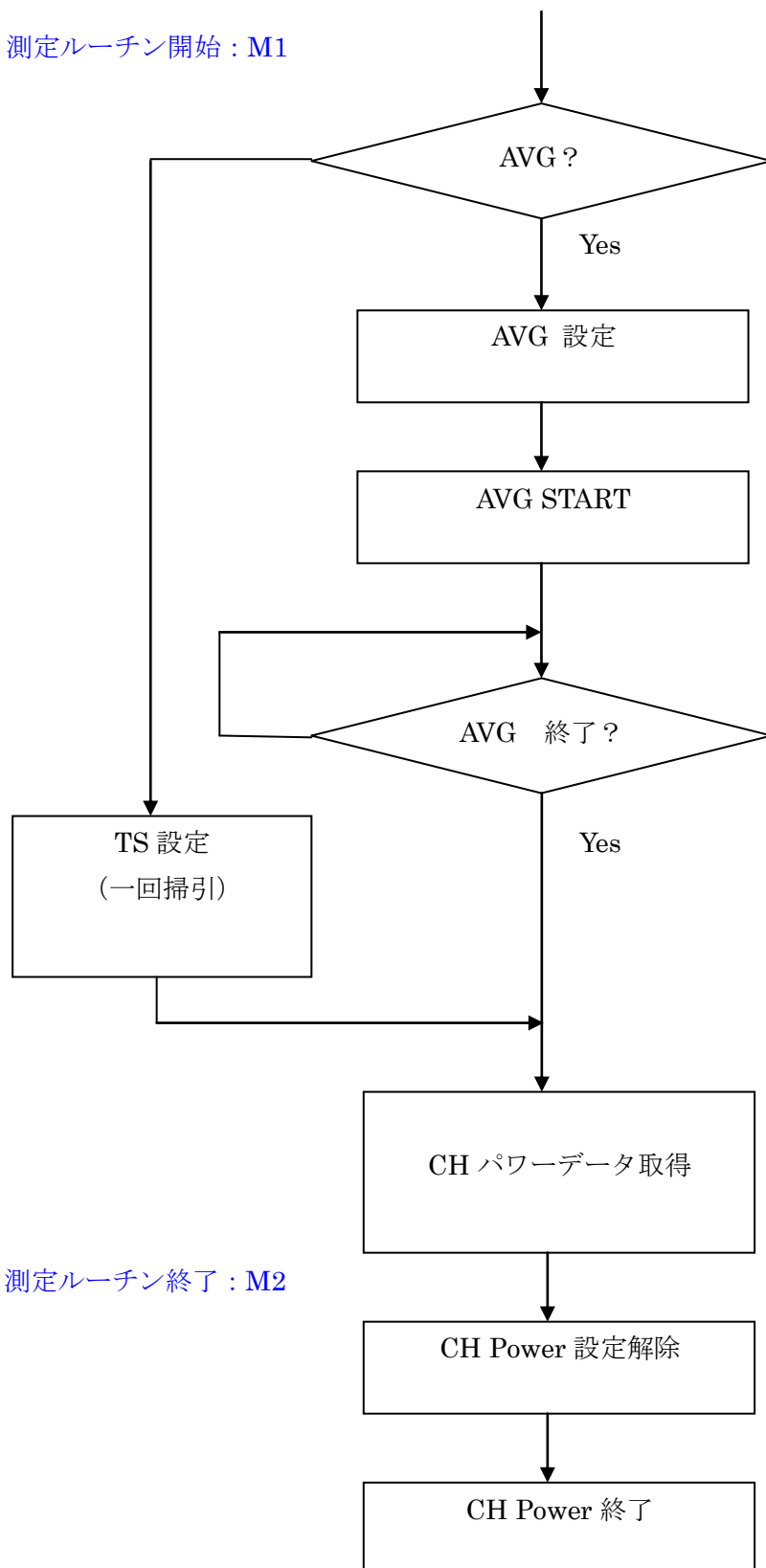
連続測定がある場合、
2 回目以降は、CF や
RL のみ変更して測定
すれば効率的です。

* 2 回目以降、必要が
あれば設定するため

* 2 回目以降、必要が
あれば設定するため

* CH Power ON

測定ルーチン開始 : M1



測定ルーチン終了 : M2

CH Power 測定ルーチン終了 :

*アベレージは？

*測定

*パワー・データのアベレージ機能を使用した場合。他に、トレースデータのアベレージモードもある

*アベレージの終了待ち

*TS は掃引終了後、自動的に次のコマンドを受付ける

*データ取得

*CH Power の設定を解除

ただし、再測定の場合はここで解除しないで、次の測定は測定ルーチン M1 から M2 だけをサブルーチン化して使うのが効率的です。